



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 アトム

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	26,322	5.8	1,688	△1.1	1,718	△0.6	875	3.5
27年3月期第2四半期	24,872	17.7	1,707	11.6	1,727	11.8	846	△5.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 916百万円 (7.3%) 27年3月期第2四半期 853百万円 (0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.57	4.44
27年3月期第2四半期	4.40	4.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	33,680	15,424	45.8	56.84
27年3月期	34,023	15,506	45.6	57.05

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,424百万円 27年3月期 15,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年3月期期末配当金の内訳 普通配当2円 記念配当3円

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,558	6.0	3,324	1.0	3,351	0.3	1,402	5.9	7.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	183,136,621 株	27年3月期	183,136,621 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	470,530 株	27年3月期	470,123 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	182,666,332 株	27年3月期2Q	182,667,202 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法の基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

※ 当社は、下記のとおり投資家向けの説明会を開催する予定です。
 平成27年10月30日(金)・・・機関投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は263億22百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は16億88百万円(同1.1%減)、経常利益は17億18百万円(同0.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億75百万円(同3.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間において新規出店を10店舗、業態変更を5店舗、改装を10店舗行い、不採算店11店舗及び契約終了により2店舗を閉鎖し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は470店舗(直営店452店舗、FC店18店舗)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、新店10店舗(「ステーキ宮」9店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗)をオープンし、業態変更を3店舗(「いろはにほへと」から「ステーキ宮」へ2店舗、「韓の食卓」から「かつ時」へ1店舗)、改装を10店舗(「ステーキ宮」5店舗、「にぎりの徳兵衛」2店舗、「味のがんこ炎」2店舗、「かつ時」1店舗)、不採算店2店舗(「ステーキ宮」1店舗、「カルビ大将」1店舗)及び契約終了により1店舗(「ラパウザ」)の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は261店舗となりました。

以上の結果、レストラン事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、170億77百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、業態変更を2店舗(「いろはにほへと」から「寧々家」へ1店舗、「北海道」から「いろはにほへと」へ1店舗)、不採算店9店舗(「春花秋灯」1店舗、「北海道」2店舗、「いろはにほへと」2店舗、「TAPA」1店舗、「鳥の蔵」1店舗、「熱演食堂」1店舗、「NIJYU-MARU」1店舗)及び契約終了により1店舗(「春花秋灯」)の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は159店舗となりました。

以上の結果、居酒屋事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、75億53百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は32店舗となりました。

以上の結果、エンターテインメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、13億59百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はFC店18店舗となりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、3億31百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円減少し、336億80百万円となりました。これは主に有形固定資産、敷金及び保証金が増加したものの、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少し、182億55百万円となりました。これは主に短期借入金の増加及び長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、154億24百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上及び配当金の支払いによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は36億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億65百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は27億64百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益(15億38百万円)及び減価償却費の計上(11億70百万円)によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18億43百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出（13億30百万円）並びに敷金及び保証金の差入による支出（5億44百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は18億86百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出（13億17百万円）、配当金の支払額（9億93百万円）及び短期借入金の純増減額（6億円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年7月29日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度は、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（会計上の見積りの変更）

従来より、当社において販売促進のための株主優待の利用による費用負担に備えるため販売促進引当金を計上しておりましたが、優待ポイントシステムの安定稼働を契機として、第1四半期連結会計期間より優待ポイントシステムを用いた見積りを行う方法に変更しています。この結果、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億73百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,637	3,672
売掛金	562	637
たな卸資産	377	378
その他	1,012	963
流動資産合計	6,591	5,652
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,204	12,410
土地	3,707	3,595
その他(純額)	2,927	3,152
有形固定資産合計	18,839	19,158
無形固定資産		
のれん	959	899
その他	107	99
無形固定資産合計	1,066	999
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,890	6,149
その他	1,729	1,815
貸倒引当金	△94	△95
投資その他の資産合計	7,526	7,869
固定資産合計	27,432	28,027
資産合計	34,023	33,680
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,886	3,175
短期借入金	—	600
1年内返済予定の長期借入金	2,498	2,294
未払法人税等	235	603
販売促進引当金	120	297
引当金	214	144
その他	4,701	3,905
流動負債合計	10,656	11,020
固定負債		
長期借入金	4,308	3,544
店舗閉鎖損失引当金	—	90
資産除去債務	686	701
その他	2,866	2,898
固定負債合計	7,861	7,235
負債合計	18,517	18,255

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073	4,073
資本剰余金	7,116	7,116
利益剰余金	4,386	4,264
自己株式	△189	△189
株主資本合計	15,387	15,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	159
その他の包括利益累計額合計	118	159
純資産合計	15,506	15,424
負債純資産合計	34,023	33,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	24,872	26,322
売上原価	7,706	8,359
売上総利益	17,165	17,963
販売費及び一般管理費	15,458	16,275
営業利益	1,707	1,688
営業外収益		
不動産賃貸料	220	212
その他	58	62
営業外収益合計	279	274
営業外費用		
支払利息	98	89
不動産賃貸原価	154	148
その他	5	7
営業外費用合計	258	244
経常利益	1,727	1,718
特別利益		
固定資産売却益	10	8
受取補償金	46	197
特別利益合計	57	205
特別損失		
固定資産除却損	190	247
減損損失	35	36
賃貸借契約解約損	2	9
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	90
特別損失合計	228	385
税金等調整前四半期純利益	1,556	1,538
法人税、住民税及び事業税	206	512
法人税等調整額	504	150
法人税等合計	710	662
四半期純利益	846	875
親会社株主に帰属する四半期純利益	846	875

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	846	875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	40
その他の包括利益合計	7	40
四半期包括利益	853	916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853	916

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,556	1,538
減価償却費	1,092	1,170
のれん償却額	51	59
販売促進引当金の増減額(△は減少)	7	176
支払利息	98	89
固定資産除却損	190	247
減損損失	35	36
受取補償金	△49	△197
売上債権の増減額(△は増加)	40	△75
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	540	289
未払消費税等の増減額(△は減少)	210	△437
その他	△132	△85
小計	3,637	2,812
利息及び配当金の受取額	12	10
利息の支払額	△97	△89
補償金の受取額	49	197
法人税等の支払額	△204	△221
法人税等の還付額	—	54
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,397	2,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,318	△1,330
敷金及び保証金の差入による支出	△505	△544
敷金及び保証金の回収による収入	202	237
事業譲受による支出	—	△197
その他	△37	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,659	△1,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	710	600
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△400	△524
長期借入れによる収入	400	350
長期借入金の返済による支出	△1,374	△1,317
配当金の支払額	△447	△993
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,112	△1,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	625	△965
現金及び現金同等物の期首残高	3,747	4,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,372	3,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。